



第17回例会報告 *通算例会回数4087回目* (11月11日於今治国際ホテルクリスタルホールB)

【出席報告】

・会員数 55名
 ・当日出席率 64.00%
 <欠席会員>安藤、原、平田、廣川、冠、小堀、近藤、楠橋、宮道、岡本、大河内、坂本、田中、田崎、八木(真)
 山本、矢野、吉田

・出席数 34名

・欠席数 21名

・前々回修正出席率 76.36%

〔免除会員〕青野(明)、檜垣(巧)、村上

<10/28 欠席補填>(10/18 今治北)青野(淳)、吉良、大河内、坂本、八木(伸)

※11月で充てれるサインは、『11/22 今治北RC』のみとなっています。

なおガバナー杯野球大会参加者のみ『11/5 ガバナー杯』も充てれます。

◇幹事報告・第11回ガバナー杯野球大会の結果報告…一回戦は、伊予RCとで13-2で今治RCが勝ち、大会二日目で中村RCとの試合でしたが、人数揃わず不戦敗となり、結果は第3位となりました。田崎会員は敢闘賞を頂きました。

・次週例会でガバナー公式訪問時に撮りました集合写真の代金(1,000円)を集金いたします。
 ご準備よろしくお願いたします。

家族音楽例会

◆河端 梢(かわばた こずえ)様【ピアニスト】紹介:愛媛県出身。ウィーン国際ピアニストコンクールにて第3位(1位なし)、Prof.ディヒラーコンクールにて第1位(ウィーン)、エウテルペ国際音楽コンクールにて第2位(イタリア)など数々のコンクールで受賞をし、国内外でリサイタルを開催。国立音楽大学を卒業後渡欧、ウィーン市立音楽芸術大学にて学士号並びに修士号を取得。これまでにゲアハルト・ゲーレトシュレーガー氏に師事し、アレキサンダー・イェンナー、マーガレット・フィンガーフト、メナヘム・プレスナー各氏のマスタークラスを受講。ファーストアルバム”Portrayal”がリリース(2019年8月)▼演奏曲目は、1曲目に『ソナタ/スカルラッチィ(イタリア)』(スカルラッチィの555曲にのぼるソナタは、基本的にはチェンバロのために書かれている曲)、2曲目は『きらきら星変奏曲/モーツァルト(オーストリア)』(正式なタイトル(邦題)は、くああ、お母さん、あなたに申しましようの主題による12の変奏曲))、3

曲目は『革命のエチュード/ショパン』(ショパンが演奏旅行のためポーランドを離れていた際、首都ワルシャワが陥落したという知らせ受け、憤慨の念を込めて作曲した怒り爆発の音楽)と、『ノクターン2番/ショパン(ポーランド)』(ショパンの夜想曲の21曲の中でも最も有名な作品。とても穏やかな印象を受けますが、作曲された当時、母国ポーランドは戦禍にあり、悲嘆の中で作られた曲)▼4曲目の『喜びの島/ドビュッシー(フランス)』では、一般的な解釈と河端



さんの曲解釈について、先に説明を交えながらワンフレーズずつ演奏し、最後にその解釈を含め通しで演奏をして下さいました。▼アンコールは2曲を予定していましたが、時間の都合により『上を向いて歩こう』の1曲のみとなりました。最後に、重松会長より河端さんへ花束贈呈をし、約3年ぶりの音楽例会が終了しました。

<ゲスト>ピアニスト 河端梢様、法人会女性部会会長青野多賀乃様関係者の皆様(12名)、会員ご家族の皆様(6名)

次回例会(11月18日)

【地区補助金活動報告】

<会員誕生日祝> 片山 泰志氏 (11/22)

<配偶者誕生日祝> 青野 淳一氏 (11/18)

〔 俵屋 〕

※事前連絡の為 11/17 水曜日の16時までに、例会欠席の方は事務局までご連絡をよろしくお願いたします。